

2月4日：ベトナム株は反発も、依然としてリスクは残る

ベトナム株は火曜日に反発した。投資家心理はわずかに改善したが短期的な見通しは依然として不透明である。

ホーチミン取引所のVN指数は0.1%上昇し929.09ポイントで取引を終えた。

VN指数はテト休暇後、前日(月曜日)までの3営業日で6.38%ほどの下落をしていた。

出来高は1億9800万株で売買代金にして3.94兆ドンであった。90%以上の取引が相対取引であった。

火曜日にはアジアと米国の株式が上昇したことを受けて市場心理は改善したとサイゴンハノイ証券は語った。

投資家の安心感で大型株を中心に買いが広がった。VN30指数は0.34%高の845.52ポイントで取引を終えた。

VN30指数の中で13銘柄が上昇し15銘柄が下落した。

大きく上昇したのは、ベティンバンク(CTG)、軍隊銀行(MBB)、VPバンク(VPB)、HDバンク(HDB)、ベトナム投資開発銀行(BID)、ベトジェット航空(VJC)、フーニョアンジュエリー(PNJ)などであった。

銀行セクターは前セクターの中で最も上昇したセクターであった。

銀行セクター指数は2%ほど上昇し、IT、保険、建設、発電などが続いた。

テト休暇明け以降、コロナウイルスへの懸念が市場の重荷になっており人体と世界経済への影響が懸念されている。

SSIリサーチによると、保険セクターへの影響は限定的とのことだ。人々はウイルスに対処するための保険を求め業績の押し上げが期待できる。一方、銀行株には短期的には悪影響だが2020年全体の同セクターへの見通しは非常に明るい。

ベティンバンク証券とMB証券によると、直近の下落は高値から大きく値下がりしている大型株を買うチャンスであるとのことだった。

火曜日に上昇した銀行株では、ベティンバンク（CTG）は 7% 高、軍隊商業銀行（MBB）と VP バンク（VPB）は 4% 高、HD バンク（HDB）と BIDV（BID）はそれぞれ 1.7%、2% 上昇した。

それらの銀行は先週の木曜と金曜にコロナウイルスへの懸念から下落したことから、昨日の取引では大きな反発を見せた。

しかしながら、投資家は依然として警戒しており、そのことを低い流動性が示しているとのことだった。

市場心理は改善したが、市場が上昇を続けるほど十分ではないと同証券は語った。また、今後 2 営業は上昇を続けるだろうとも語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 1.25% 上昇し 102.57 ポイントで取引を終えた。

同指数は先週木曜日から合計では 4.67% 下落していた。

出来高は 3100 万株で売買代金にして 3147 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。